

決算補足説明資料

2021年度 3-11月期 業績概要

注意事項

- 当社は2020年5月28日提出の有価証券報告書より、会計基準の統一による経営管理の高度化および資本市場における財務情報の国際的な比較可能性向上を目的として、国際財務報告基準(以下「IFRS」)を任意適用しております。
- 本資料に記載されている業績見通し等に関する将来の予測は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により、この見通しとは異なることがあります。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因には、当社の事業領域を取り巻く国内外の経済情勢、当社製品・サービスに対する需要動向、為替・株式市場の動向などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。
- 本資料に記載の数値は四捨五入にて表示しており、決算短信など他資料と異なる場合があります。
- 本資料の著作権は当社に帰属し、当社の事前の承諾なく複製または転用することを禁じます。

株式会社 安川電機 (TSE6506)

(対象期間：2021年3月1日～2021年11月30日)

1. 2021年度 3-11月期 連結業績

- 2021年度 3-11月期 実績
- 主要事業の概要
- 事業セグメント別売上収益構成比
- 仕向先別売上収益，構成比
- 営業利益増減要因分析
- 2021年度 3Qにおける取組み

2. 2021年度 通期 連結業績見通し

- 2021年度 通期 見通し

3. 参考資料

- 設備投資・研究開発費,為替レート,感応度
- B/S構造の推移
- 連結売上収益・営業利益推移
- 四半期連結売上収益推移
- 四半期連結受注推移

セグメント別事業概要

モーションコントロール

【主要製品】

- ・ A Cサーボモータ、コントローラ
 - ・ リニアサーボ
 - ・ インバータ
 - ・ PMモータ
- など



ロボット

【主要製品】

- ・ 産業用ロボット
 - アーク・スポット溶接・塗装用途向け
 - FPD搬送・ハンドリング用途向け
 - ・ 半導体製造装置用ロボット
 - ・ バイオメディカル用途向けロボット
 - ・ 人協働ロボット
- など



システムエンジニアリング

【主要製品】

- ・ 大型風力発電用電機品
 - ・ 太陽光発電用パワーコンディショナ
 - ・ 上下水道用電気計装システム
 - ・ 鉄鋼プラント用電機システム
- など



その他

- ・ 物流サービス
- など

1. 2021年度 3-11月期 連結業績

2021年度 3-11月期 実績

- ・ コロナ禍からの正常化が着実に進み、製造業全般において設備投資が拡大したことから、大幅な増収増益

	2021年度	2020年度	前年同期比	
	3-11月期 実績	3-11月期 実績	増減額	増減率
売上収益	3,574億円	2,799億円	+774億円	+27.7%
営業利益	399億円	200億円	+199億円	+99.2%
税引前利益	412億円	191億円	+221億円	+116.0%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	308億円	141億円	+167億円	+118.5%

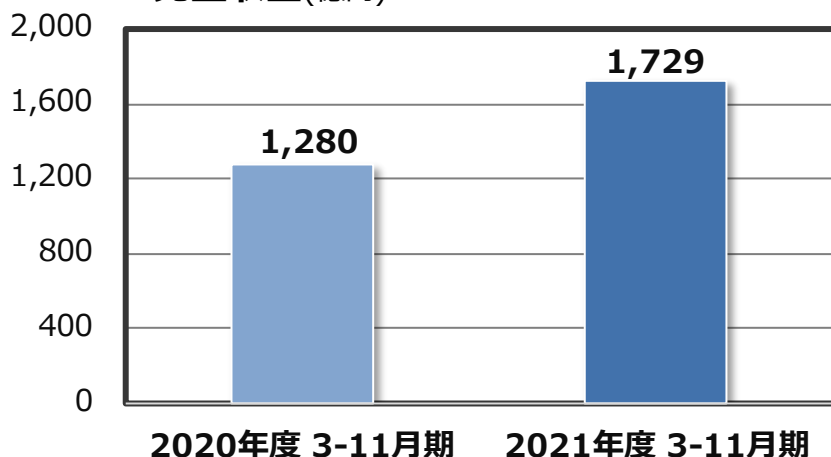
2021年度 3-11月期 実績（セグメント別）

- ・ 半導体・電子部品市場がグローバルに拡大し、自動車市場におけるEV(電気自動車)化やリチウムイオン電池関連などの設備投資が加速
- ・ 主要セグメントにおいて大幅に増収増益

	2021年度 3-11月期		2020年度 3-11月期		前 年 同 期 比	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
(単位：億円)						
売上収益	3,574		2,799		+774	+27.7%
モーションコントロール	1,729		1,280		+449	+35.1%
ロボット	1,310		996		+314	+31.5%
システムエンジニアリング	384		351		+32	+9.2%
その他	151		171		▲21	▲12.1%
営業利益	399	11.2%	200	7.2%	+199	+99.2%
モーションコントロール	297	17.2%	182	14.3%	+115	+62.8%
ロボット	117	9.0%	42	4.2%	+75	+178.4%
システムエンジニアリング	13	3.4%	0	0.0%	+13	-
その他	3	1.8%	▲3	▲1.5%	+5	-
消去または全社	▲31	-	▲22	-	▲9	-

主要事業の概要 モーションコントロール

売上収益(億円)



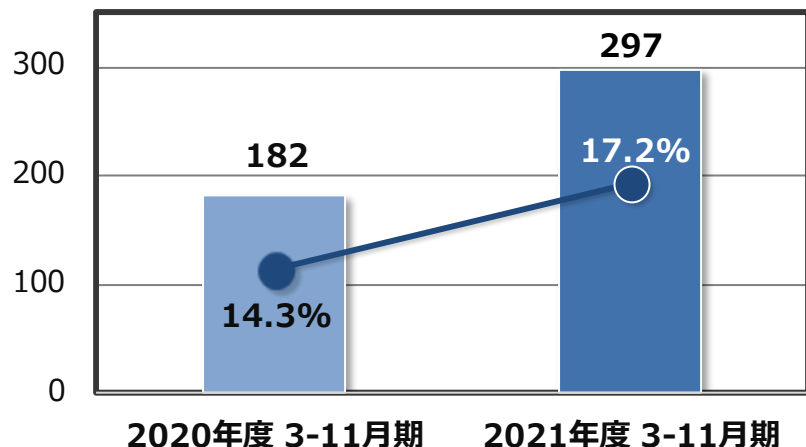
【売上収益】

- ACサーボでは、日米・韓国などで半導体・電子部品需要が高い水準で推移し、中国においても5Gや新エネルギー関連の設備投資が継続したため、販売は好調
- インバータでは、欧州をはじめグローバルな市況回復に加え、中国では省エネ政策に伴う需要や繊維関連の需要などが拡大し、売上は伸長

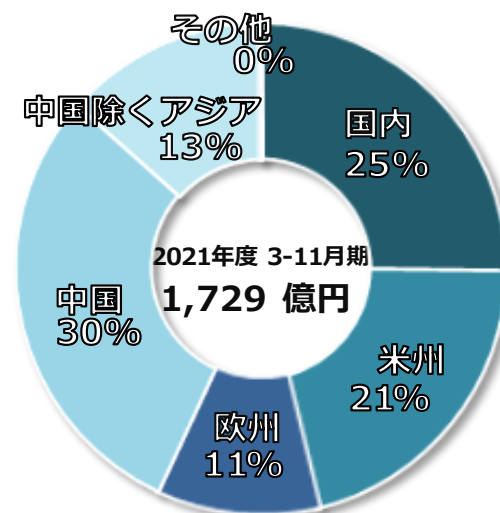
【営業利益】

- 物流費や原材料費の値上がりの影響を受けたものの、売上の増加や新製品切り替え効果などにより増益

営業利益(億円)・営業利益率(%)

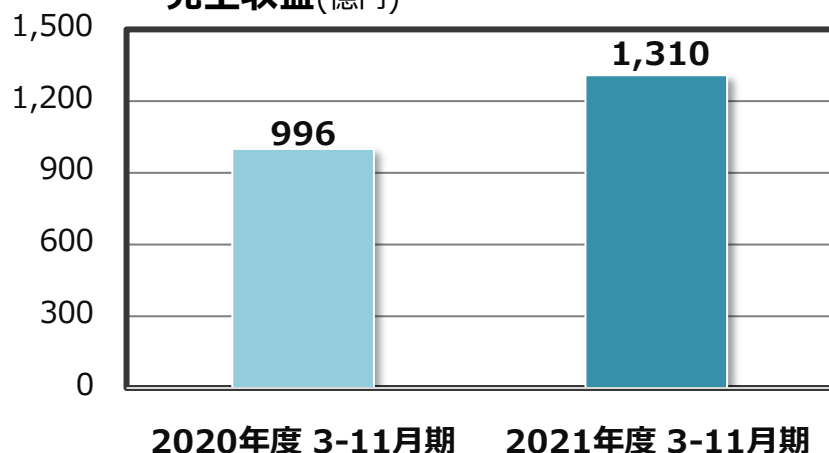


仕向先別売上収益構成比



主要事業の概要 ロボット

売上収益(億円)



【売上収益】

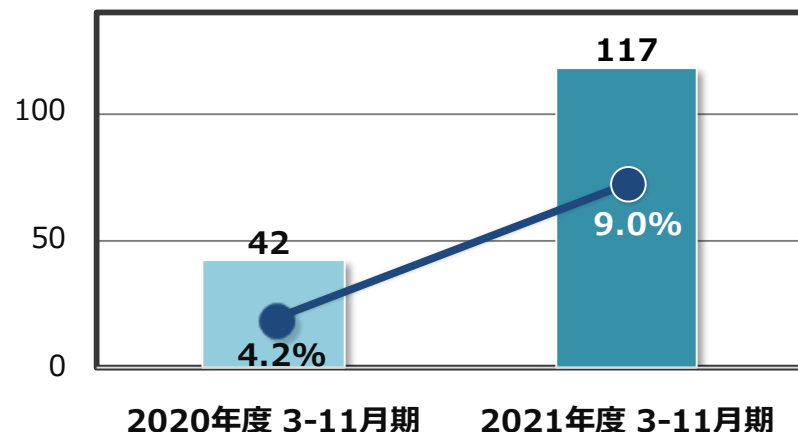
- 自動車市場ではEV (電気自動車)化がグローバルで加速し、新たな生産設備の投資を拡大する動きが継続
- 3C※などを中心とした一般産業分野では生産の高度化・自動化を目的とした投資が継続
- 半導体ロボットの販売も好調

【営業利益】

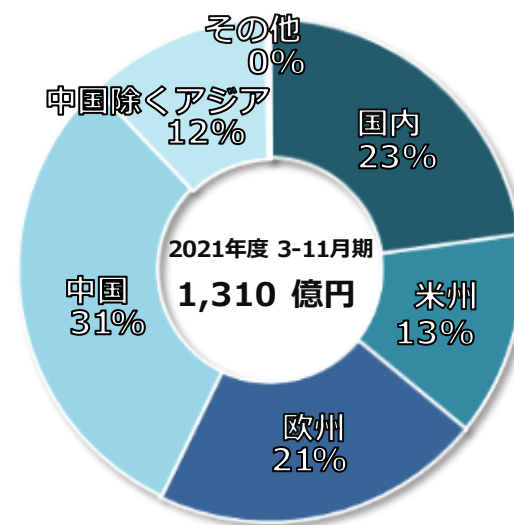
- 売上増加や操業度の改善などにより営業利益は大幅に増加

※3C:Computer、Communication、Consumer Electronics の3語の頭文字

営業利益(億円)・営業利益率(%)

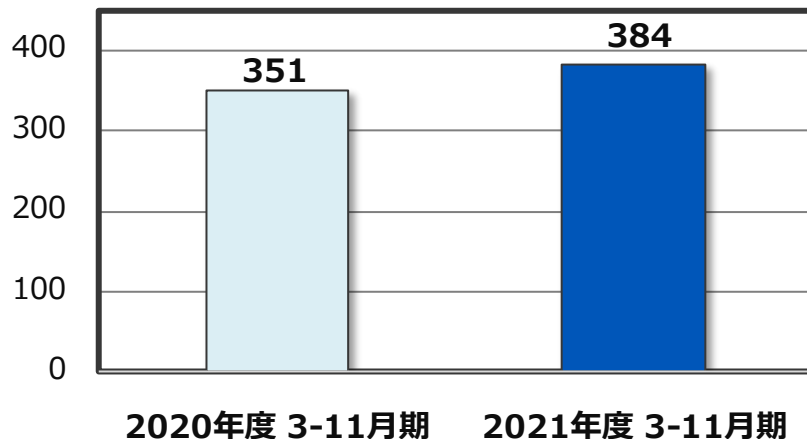


仕向先別売上収益構成比



主要事業の概要 システムエンジニアリング

売上収益(億円)



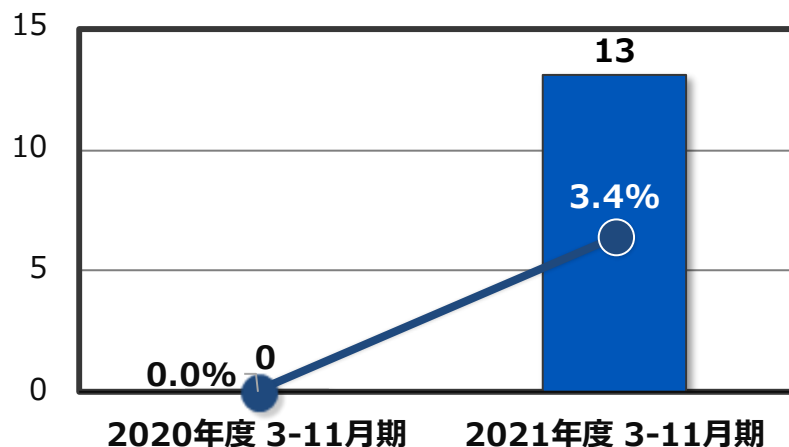
【売上収益】

- ・ コロナ禍からの正常化により上下水道用電気システム関連は大幅に伸長し、大型風力発電用電機品の売上も増加
- ・ 国内の鉄鋼プラント関連の売上が低調に推移した一方、海外の港湾クレーン向けの販売は堅調

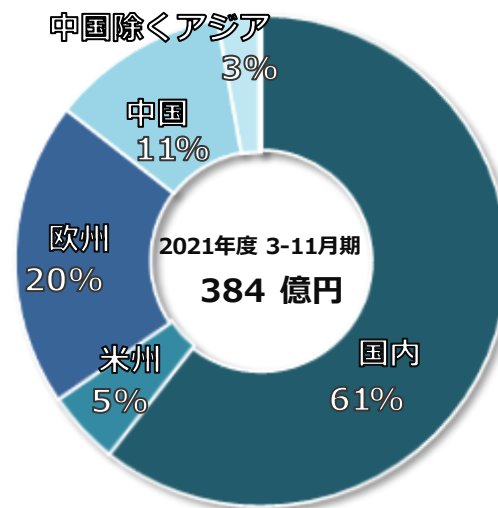
【営業利益】

- ・ 採算管理の徹底や、経費抑制の継続などにより増益

営業利益(億円)・営業利益率(%)

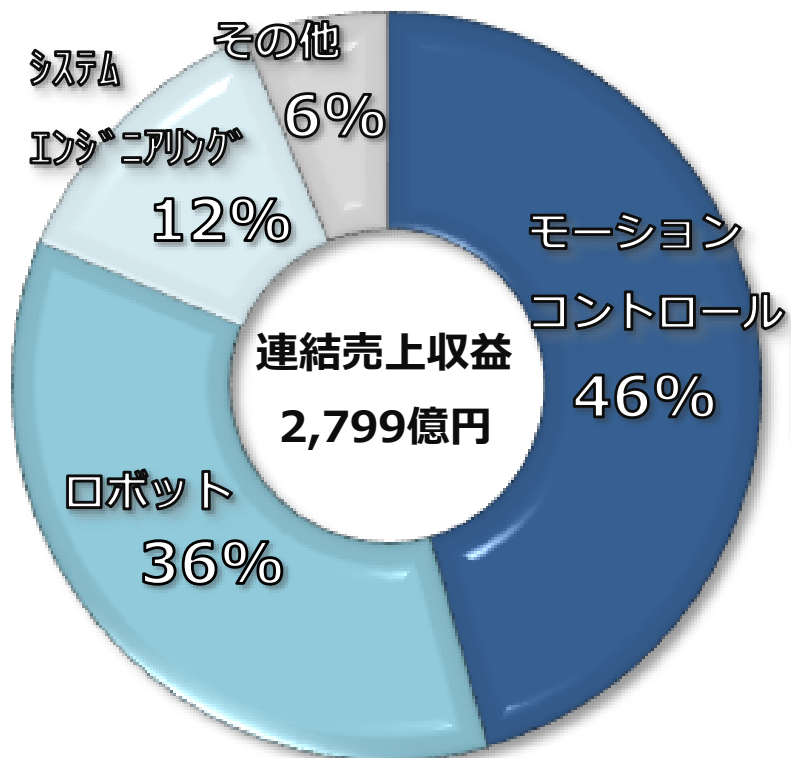


仕向先別売上収益構成比

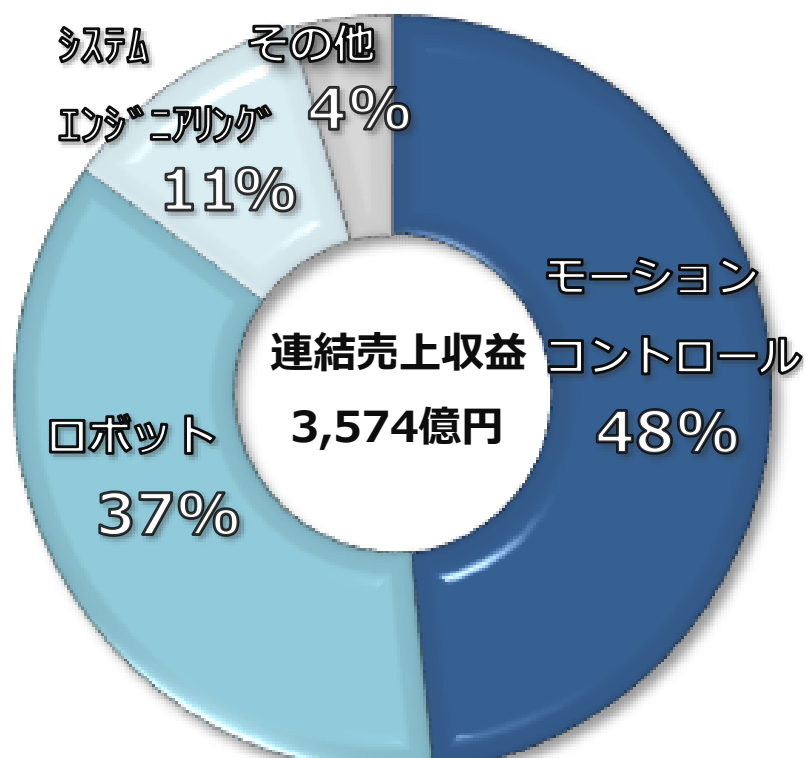


事業セグメント別売上収益構成比

2020年度 3-11月期



2021年度 3-11月期



仕向先別売上収益（2020年度 3-11月期 → 2021年度 3-11月期）

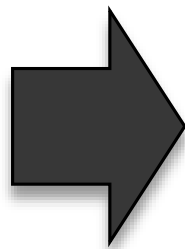
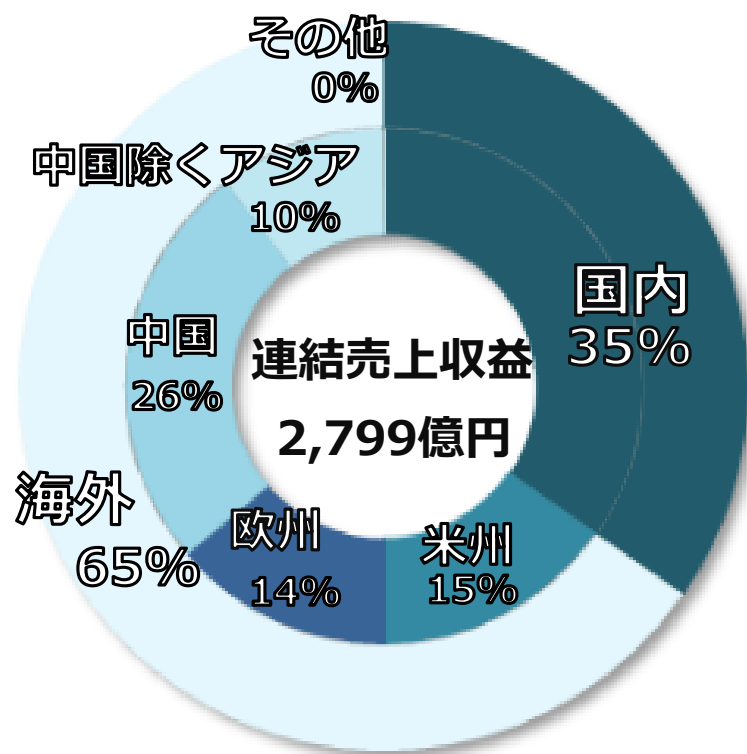
・全地域において大幅な増収

(単位：億円)	2021年度	2020年度	前年同 期 比	
	3-11月期 実績	3-11月期 実績	増減額	増減率
売上収益	3,574	2,799	+774	+27.7%
国内	1,087	970	+117	+12.1%
海外	2,486	1,829	+657	+35.9%
米州	556	431	+125	+29.0%
欧州	541	384	+157	+41.0%
中国	988	721	+266	+36.9%
中国除くアジア	398	291	+106	+36.6%
その他	4	2	+2	+114.9%

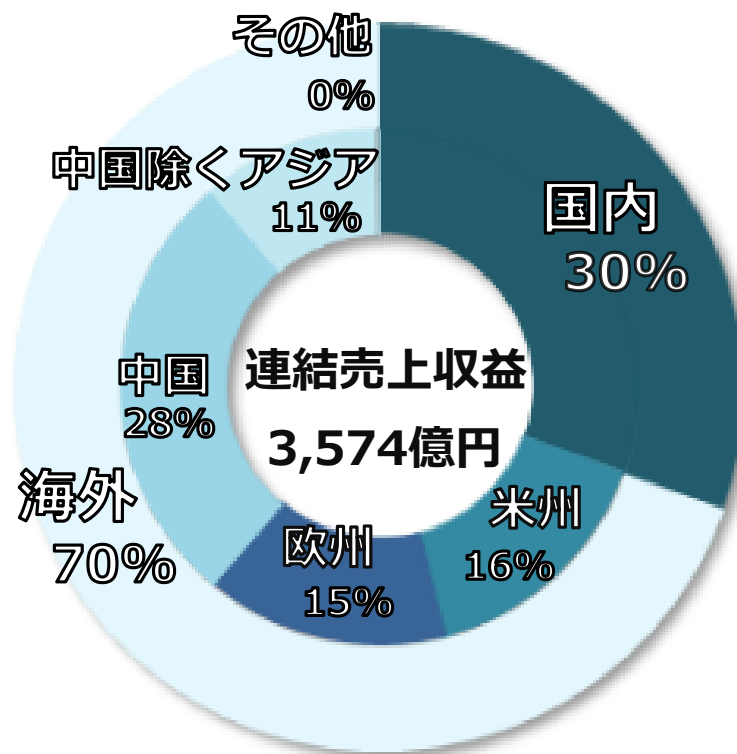
[注] 欧州には、中近東およびアフリカを含む

仕向先別売上収益構成比

2020年度 3-11月期



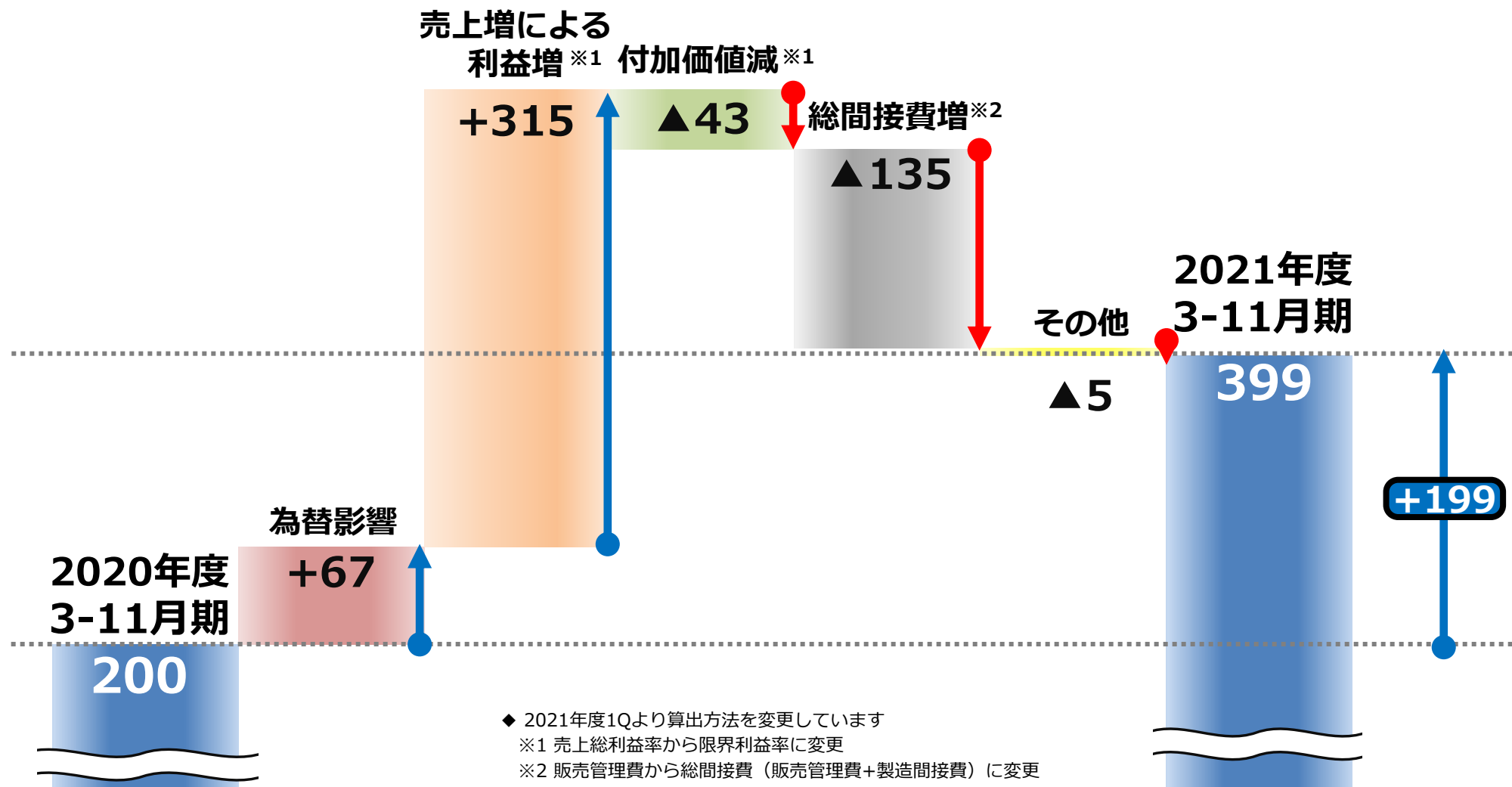
2021年度 3-11月期



[注] 欧州には、中近東およびアフリカを含む

営業利益増減要因分析（2020年度 3-11月期 → 2021年度 3-11月期）

（単位：億円）



2021年度 3Qにおける取り組み

➤ “i³-Mechatronics”のビジネスモデル確立

➔ 開発力の強化

- ・ 安川テクノロジーセンタでお客さま・大学との技術交流・共創活動を開始

➔ 生産力の強化

- ・ 日本と中国の主要工場^{*1}で共通生産システムによる生産情報などの見える化実現（YDX）

^{*1}: ACサーボ工場（埼玉県入間市・中国瀋陽市）インバータ工場（福岡県行橋市・中国上海市）ロボット工場（福岡県北九州市・中国常州市）

➔ 販売力の強化

- ・ ロボット年間保全サービスのトライアル提供開始
- ・ 小型ロボット4機種に直感的な操作が可能なタブレット型プログラミングペンダントを適用し「スマートシリーズ」として提供開始
- ・ 食品加工用途向け小型ロボット「MOTOMAN-GP 8」を販売開始



タブレット型プログラミングペンダント



食品加工用途向け「MOTOMAN-GP 8」

➤ サステナブルな社会/事業に寄与する経営基盤の強化

➔ インターナルカーボンプライシング^{*2}を用いた脱炭素化への取り組み加速

- ・ 国内電力需要の約6割をCO₂フリー電力に切り替え
- ・ 九州地区の主要事業所^{*3}に加え、入間事業所にCO₂フリー電力導入完了

^{*2}: 企業が独自に社内の炭素排出量に価格を付け、何らかの金銭価値を付与することで、企業活動を意図的に脱炭素に変化させる取り組み。
当社はCO₂排出1トンあたり5,000円に設定

^{*3}: 本社、八幡西事業所、小倉事業所、中間事業所

2. 2021年度 通期 連結業績見通し

2021年度 通期 見通し

- ・ 需要環境は引き続き好調なものの、部品不足による生産影響を鑑み、
中間決算発表時(2021/10/8発表)の通期見通しを据え置く

	2021年度	2020年度	前 年 同 期 比	
	見通し	実績	増減額	増減率
売 上 収 益	4,850億円	3,897億円	+953億円	+24.5%
営 業 利 益	580億円	272億円	+308億円	+113.4%
税 引 前 利 益	595億円	272億円	+323億円	+119.0%
親会社の所有者に帰属する 当 期 利 益	425億円	189億円	+236億円	+124.5%

3. 参考資料

設備投資・研究開発費, 為替レート, 感応度

設備投資・研究開発費の状況

(単位: 億円)

	2019年度 (実績)	2020年度 (実績)	2021年度 (計画)
設備投資額	254.7	227.9	250.0
減価償却費	167.5	160.9	170.0
研究開発投資	190.0	178.5	180.0

為替レート

※ 為替レートは、期中平均レートを記載

(単位: 円)

	2019年度 (実績)				2020年度 (実績)				2021年度 (想定)			
	3-11	4Q	下期	通期	3-11	4Q	下期	通期	3-11(実績)	4Q	下期	通期
対 米ドル	108.9	109.5	108.8	109.0	106.5	104.3	104.7	106.0	110.5	113.0	112.7	111.1
対 ユーロ	121.5	120.9	120.1	121.4	121.6	126.6	125.3	122.8	130.7	128.0	129.2	130.0
対 円	15.71	15.69	15.48	15.70	15.38	16.08	15.87	15.55	17.12	17.80	17.66	17.29
対 ウォン	0.093	0.093	0.092	0.093	0.090	0.095	0.093	0.091	0.096	0.095	0.095	0.096

為替感応度

(単位: 億円)

	1%変動による影響額 (2021年度_通期 想定)	
	売上収益	営業利益
米ドル	約 8.8	約 2.6
ユーロ	約 7.4	約 2.1
円	約 12.3	約 4.4
ウォン	約 2.4	約 1.7

B/S 構造の推移

2021年2月28日時点

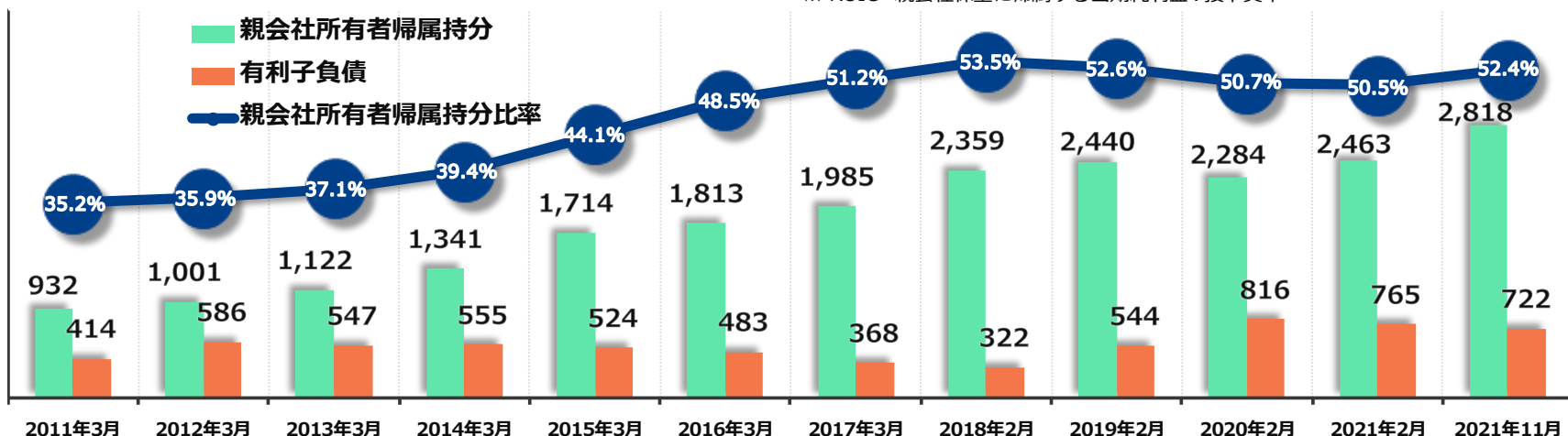
- 親会社所有者帰属持分比率 50.5%
- 親会社所有者帰属持分 2,463億円
- 有利子負債 765億円
- D/Eレシオ 0.31
(ネットD/Eレシオ) 0.10
- 棚卸資産 1,015億円
(回転月数) (3.1ヶ月)
- ROE 8.0%
- ROIC 7.0%

2021年11月30日時点

- 親会社所有者帰属持分比率 52.4%
- 親会社所有者帰属持分 2,818億円
- 有利子負債 722億円
- D/Eレシオ 0.26
(ネットD/Eレシオ) 0.07
- 棚卸資産 1,175億円
(回転月数) (3.0ヶ月)

※ 有利子負債はリース債務を含む
 ※ 棚卸資産回転月数の計算には棚卸資産の期末値を使用
 ※ ROE=親会社株主に帰属する当期純利益÷((前期末自己資本+当期末自己資本)÷2)
 ※ ROIC=親会社株主に帰属する当期純利益÷投下資本

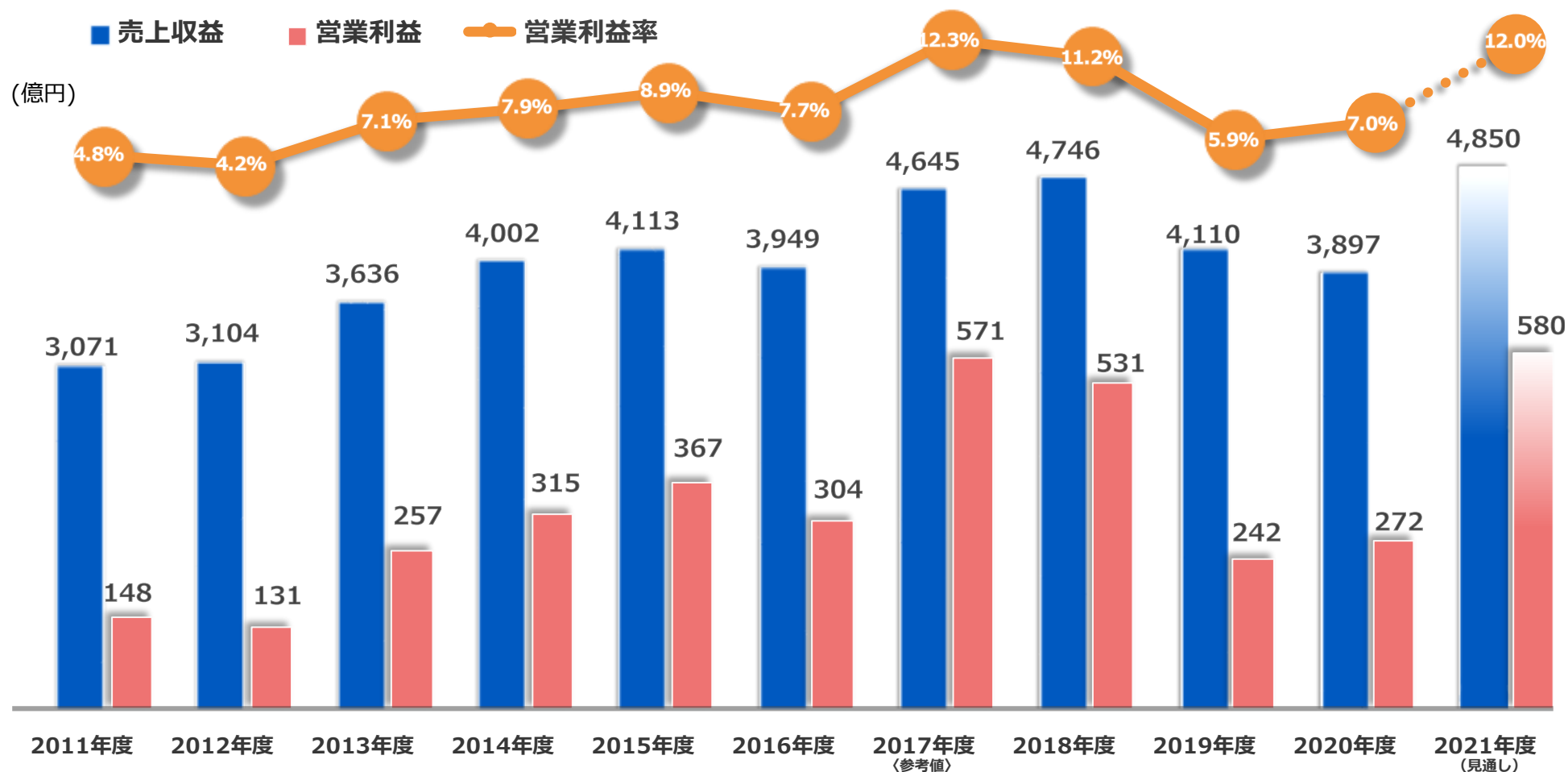
(億円)



営業CF	25	64	246	240	290	320	338	461	343	215	396	390
投資CF	▲ 67	▲ 119	▲ 181	▲ 169	▲ 279	▲ 224	▲ 189	▲ 189	▲ 271	▲ 206	▲ 96	▲ 214
フリーCF	▲ 43	▲ 55	66	70	11	95	148	272	72	8	300	175

[注] 2018年2月までのデータは日本基準にて記載しています

連結売上収益・営業利益推移（2011年度～2021年度見通し）



Challenge 100

Realize 100

Dash 25

Challenge 25 Plus

中期経営計画

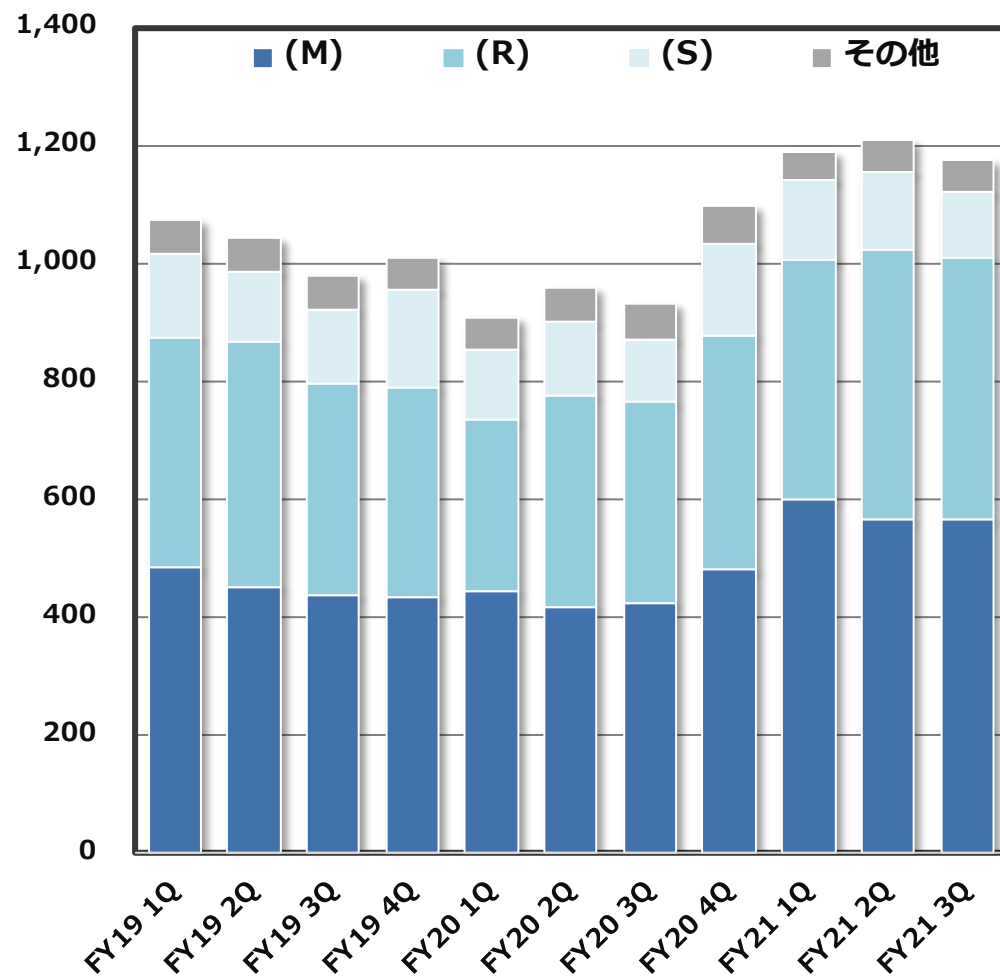
[注1.] 2017年度までのデータは日本基準にて記載しています

[注2.] 2017年度通期実績は、対象期間を2017年3月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値〉にて記載

四半期連結売上収益推移

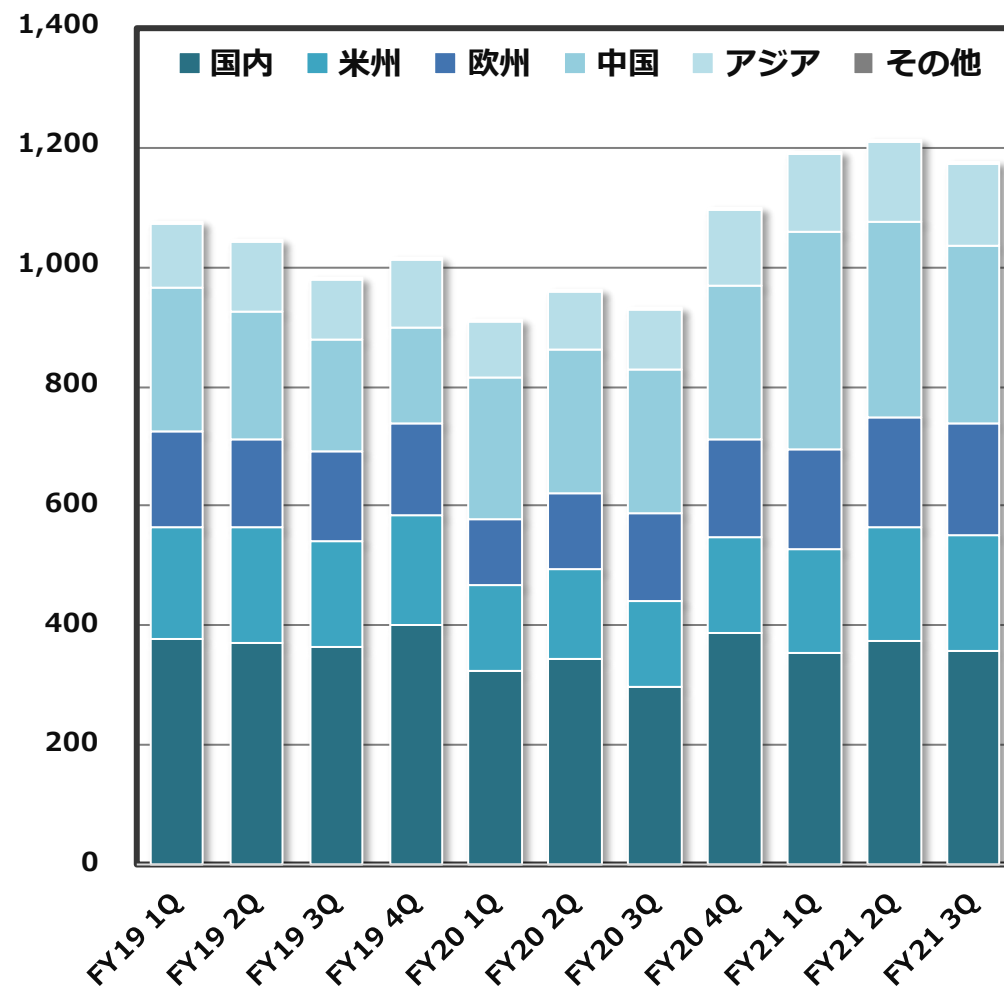
セグメント別

(億円)



仕向先別

(億円)

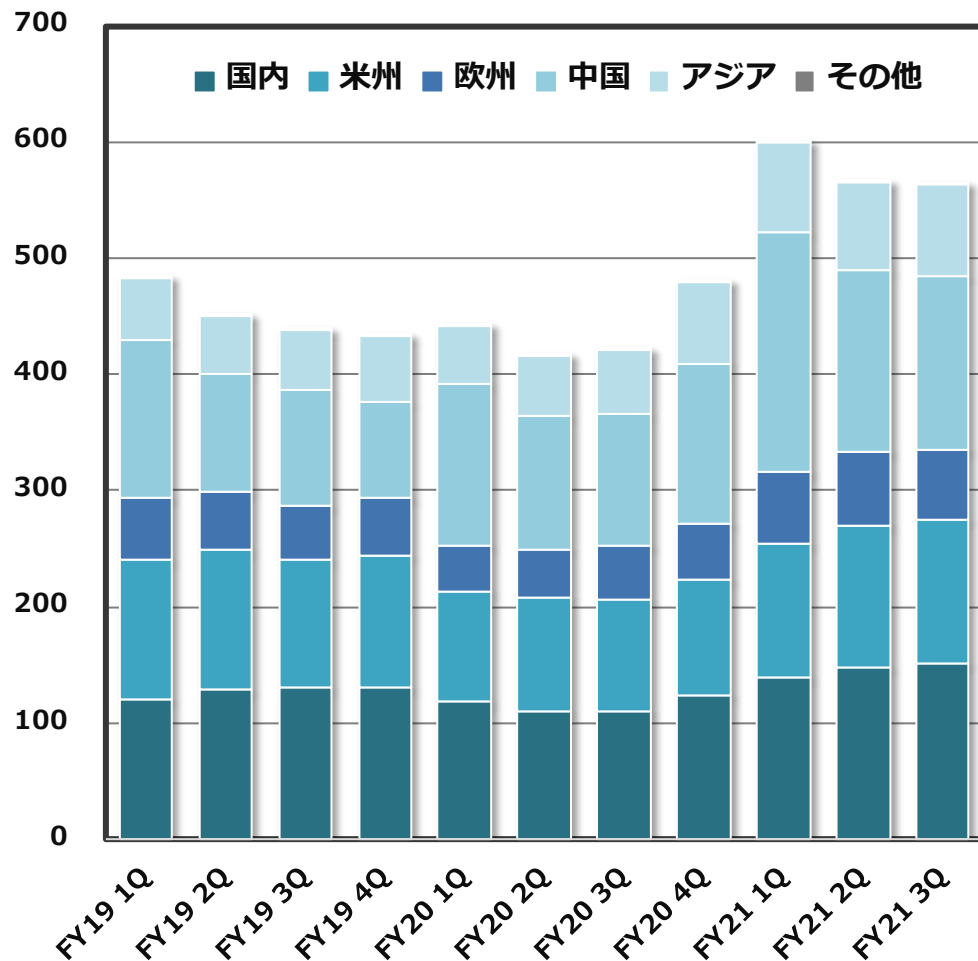


[注.2] 表記：(M) = モーションコントロール, (R) = ロボット, (S) = システムエンジニアリング

四半期連結売上収益推移

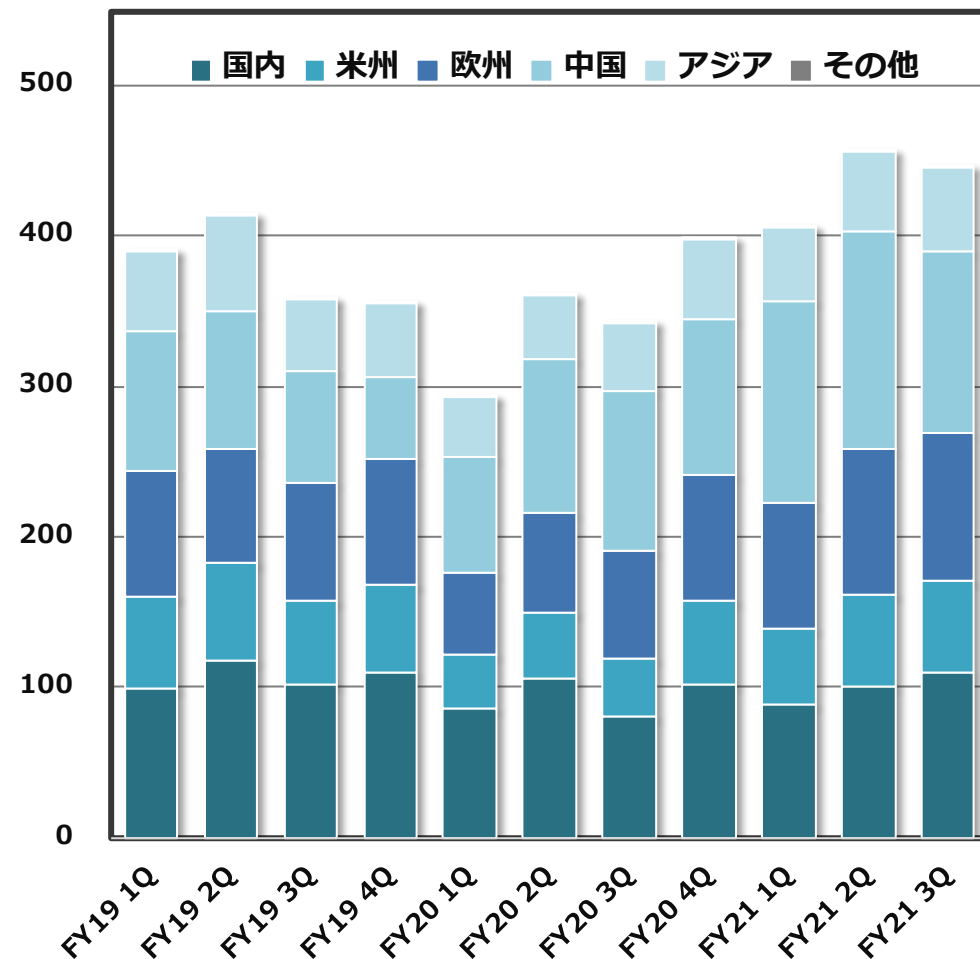
モーションコントロール

(億円)



ロボット

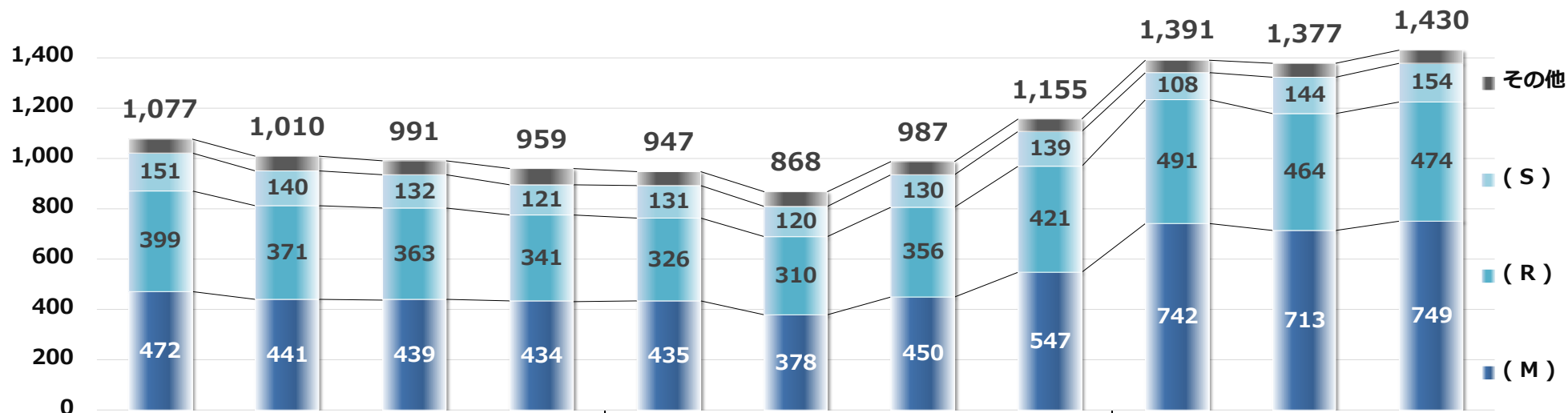
(億円)



四半期連結受注推移（セグメント別）

※為替は期中平均レートを使用

(億円)



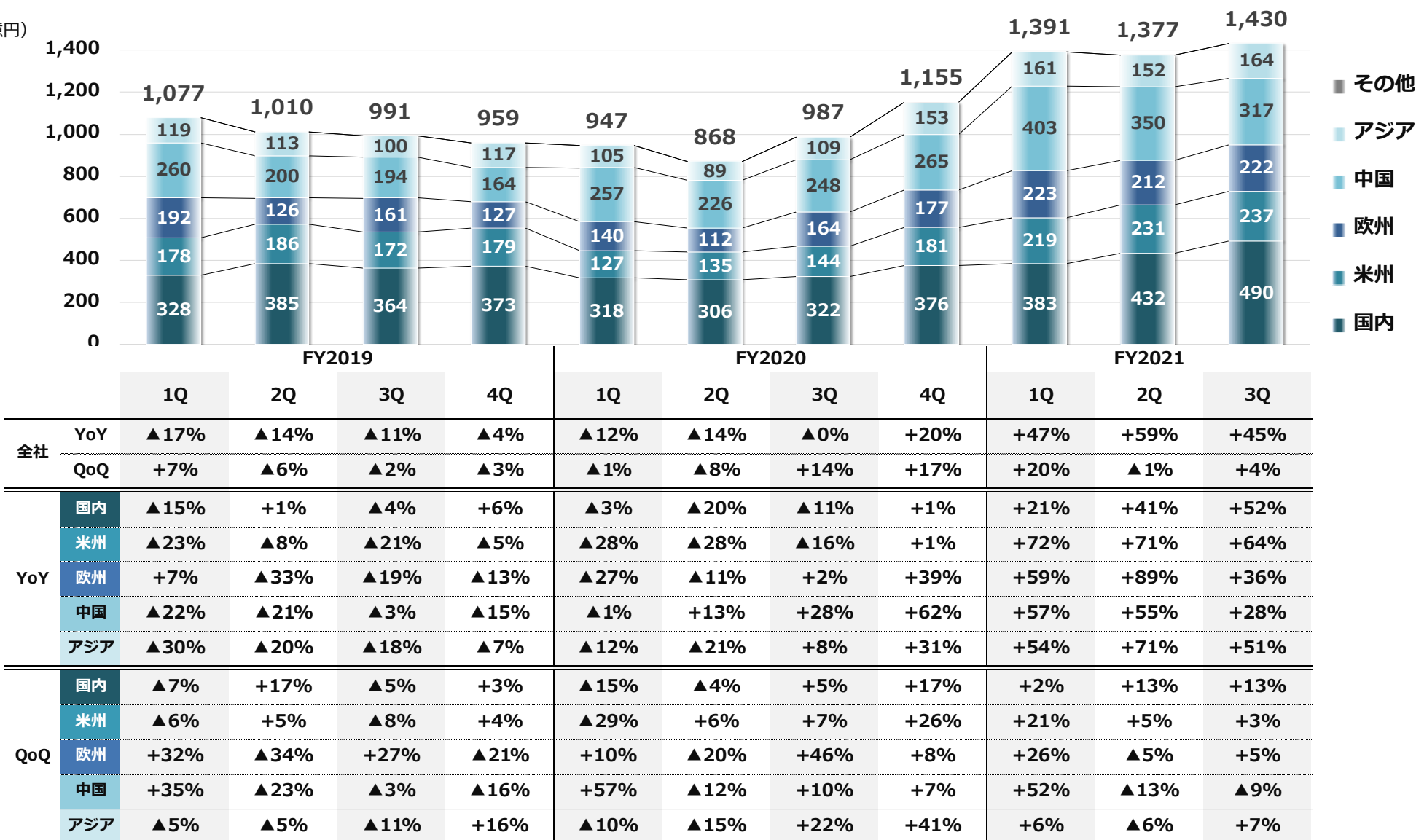
		FY2019				FY2020				FY2021		
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
全社	YoY	▲17%	▲14%	▲11%	▲4%	▲12%	▲14%	▲0%	+20%	+47%	+59%	+45%
	QoQ	+7%	▲6%	▲2%	▲3%	▲1%	▲8%	+14%	+17%	+20%	▲1%	+4%
YoY	(M)	▲26%	▲15%	▲7%	+4%	▲8%	▲14%	+2%	+26%	+70%	+89%	+67%
	(R)	▲19%	▲22%	▲17%	▲15%	▲18%	▲16%	▲2%	+23%	+51%	+50%	+33%
	(S)	+64%	+27%	▲6%	▲3%	▲13%	▲14%	▲1%	+15%	▲18%	+20%	+18%
QoQ	(M)	+13%	▲7%	▲0%	▲1%	+0%	▲13%	+19%	+22%	+36%	▲4%	+5%
	(R)	▲0%	▲7%	▲2%	▲6%	▲4%	▲5%	+15%	+18%	+17%	▲5%	+2%
	(S)	+21%	▲7%	▲6%	▲8%	+8%	▲8%	+8%	+7%	▲23%	+34%	+6%
為替レート	円/ドル	111.0	107.6	108.2	109.5	107.6	106.8	105.2	104.3	109.0	110.1	112.5
	円/ユーロ	124.7	120.6	119.3	120.9	117.9	122.8	124.0	126.6	130.7	130.9	130.5

[注.] 表記：(M) = モーションコントロール, (R) = ロボット, (S) = システムエンジニアリング

四半期連結受注推移（仕向先別）

※為替は期中平均レートを使用

(億円)



YASKAWA